

広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

6月号

No.230 (R8.6.11)



一般社団法人広島市歯科医師会 第119 回定時総会

開催日時 令和8年6月27日(土) 午後3時

開催場所 広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島県歯科医師会館2階「ハーモニーホール」

出席ならびにハガキのご提出をお願いいたします。

行事報告

令和8年度 第1回 学術講演会 1

令和8年度 広島市学校保健会総会・広島市学校保健会 第1回 理事会 2

支部だより

中区支部 3

ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部) 4

「ホルムズ海峡封鎖から今後の歯科医療を検討してみた」(総務部) 4

オーラルフレイルの先駆け、三百年前の偉人。貝原益軒の養生訓第2回: 八十三歳、天然歯二十八本の衝撃 6

広島市歯科医師会会員紹介(厚生部) 7

～ハハ姉妹の学校ニュース《38 時間目》「お口ポカン気になりませんか? ②」～(地域歯科保健部) 8

会員ひろば

新入会員紹介 9

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より 「こんな医療トラブルが起っています」(総務部) 10

令和8年度 妊婦歯科健康診査料及び節目年齢歯科健康診査料のお知らせ 10

今月の知っておきたいこと(広報部) 11

YouTube(広報部) 13

FM ちゅーピー(広報部) 13

会長コラム 森本克廣先生を偲んで 14

5月定例理事会報告 16

LINE 公式アカウント 友達募集 18



被災時や緊急時の会員安否確認のための
LINE 登録お願いします!!

現時点での登録者数 204/442 人 2026. 6. 1 現在



行事報告

令和8年度 第1回 学術講演会

日時：4月28日(火)午後7時20分

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

今回の学術講演会は、福岡県でご開業の築山鉄平氏に「1+1=11」にするペリオと矯正のコラボレーション」の題目で講演していただきました。

本講演では、歯周組織の基礎的理解からガミースマイル治療、さらにエアウェイ(気道)や小児期からの顎顔面発育管理に至るまで、包括的歯科治療の考え方について詳しく解説がありました。

冒頭では、歯周ポケットの評価について説明がありました。歯周ポケットは炎症や歯肉の腫脹などによって変化するため、ポケット深さはあくまで「現在の歯周組織の状態を示す一つの指標」であることが強調されました。また、歯周組織の断面構造について、歯肉溝、上皮性付着、結合組織性付着などを整理し、従来「生物学的幅径」と呼ばれていた概念が、2017年以降は「骨縁上組織付着」という名称に変更された経緯についても紹介されました。一般的には約2mmと理解されていますが、実際には個人差が大きいことが示されました。

続いて、Coslet分類を用いたガミースマイル治療について説明がありました。角化歯肉量や歯槽骨位置によって分類を行い、それぞれに応じて歯肉切除、フラップ手術、骨整形などの術式を選択するという内容でした。

しかしながら築山先生は、実際の臨床では骨位置に左右差や部位差が存在するため、この分類だけで判断せず、フラップを開いて直接確認する重要性を強調されました。特に審美的歯冠延長術では、CEJから約3mmの位置に骨頂を設定することを基本としていると述べられました。

さらに、臨床的歯冠長と解剖学的歯冠長の違いについても解説がありました。一般的な審美評価では臨床的歯冠長が用いられますが、個人差が大きいため、より本質的な評価にはCEJから切縁までの解剖学的歯冠長を基準とする必要があるとのことでした。講師自身が九州大学で日本人歯牙の計測を行った経験にも触れ、日本人は白人より歯冠幅径がやや小さく、それが歯肉や骨の薄いバイオタイプと関連する可能性についても考察されまし

た。築山先生は解剖学的歯冠長比78%を基準として考えていると述べておられました。

ガミースマイルは特殊な症例ではなく、矯正未経験者の約3分の1、矯正経験者では4~5割に認められる比較的身近な問題であることが紹介されました。講師は独自のスマイル分類を提唱されており、歯肉露出量に応じてSmile A(軟組織が見えない人)、B(歯冠乳頭だけ見える人)、C(1mm~3mm 歯肉が見える人)、D(4mm~8mm 歯肉が見える人)、E(9mm以上歯肉が見える人)に分類し、特に4mm以上露出する症例では、多くの患者が審美障害として認識していることを示されました。治療法としては、審美的歯冠延長術、補綴の介入、ボツリヌストキシン製剤、Lip Repositioning手術などが紹介され、症例に応じた組み合わせが必要であると説明されました。ガミースマイルの一つのゴールとしてSmileD、Eの人をC以下に持っていくことであるとのことでした。

後半では、咬耗、ブラキシズム、顎関節症、歯周病などとエアウェイとの関連についての考察が示されました。特に成人では気道狭窄に対する根本的改善が難しく、フルマウス治療においても舌房を狭くしないことが重要であると述べられました。日本人は肥満率が低いにもかかわらず睡眠時無呼吸症候群が多く、その背景には顎顔面骨格の小ささが関与しているとの説明がありました。アメリカで行われているMSEによる上顎拡大や外科的拡大法についても紹介されましたが、成人では侵襲性が高く限界があるため、現在は小児期からの介入を重視しているとのことでした。

講演終盤では、歯列不正の本質は「頭蓋顔面発育障害」であり、その根本原因として口呼吸や鼻閉、舌機能異常などが存在すると整理されました。舌が適切に口蓋へ接触しないことで上顎発育が阻害され、結果として叢生や気道狭窄が生じるという説明をされていました。

最後に、専門分野間の連携の重要性について述べられました。自らの得意分野に集中し、苦手分野は情熱を持つ専門家と協力することで、より高度かつ安全な医療が実現できるという考えが示されました。包括的歯科医療において、機能・審美・生物学的安定性を統合的に捉えることの重要性を再認識させられる講演でした。

(執筆者：花岡宏一)



講演をした築山鉄平氏

令和 8 年度 広島市学校保健会総会・ 広島市学校保健会 第 1 回 理事会

日時：5 月 1 日(金)午後 7 時

場所：広島市役所 2 階「講堂」

総会においては、最初に山本匡広島市学校保健会会長(広島市医師会会長)の挨拶、松井勝憲広島市教育長の祝辞に続き、山本会長が議長となり、以下の議事について報告、協議があった。

1. 令和 7 年度事業報告及び決算報告
2. 監査報告
3. 役員の改選
4. 令和 8 年度事業計画(案)及び予算(案)
5. 令和 8 年度広島市学校保健大会について

この後、広島市が開催地となる令和 10 年度指定都市学校保健協議会についての説明およびこころの健康相談事業について概況の報告があり、最後に水野正晴広島市学校保健会副会長(安芸地区医師会会長)が閉会の辞を述べた。

総会に引き続き、同じ会場で午後 7 時 50 分より、令和 8 年度広島市学校保健会第 1 回理事会が開催された。永田忠広島市学校保健会専務理事(広島市医師会)の司会の下、山本会長の挨拶に続き、以下の 3 議案について事務局から説明があり、審議を行った。

【第 1 議案】普及振興事業について

(1) 表彰について

- ① 広島市学校保健功労者及び学校保健推進校
- ② 令和 8 年度永年勤務の学校医・学校歯科医及び学校薬剤師に対する感謝状授与
- ③ 広島市学校保健研究物

(2) 表彰審査委員会委員について

(3) 表彰に関する今後の日程について

【第 2 議案】第 66 回広島市学校保健大会開催要項

【第 3 議案】第 66 回広島市学校保健大会への協賛について

第 66 回広島市学校保健大会については、令和 8 年 7 月 30 日(木)に JMS アステールプラザにおいて開催されることとなっている。

最後に、瓜生賢副会長(本会会長)の閉会の辞をもって理事会を終了した。

本会より、瓜生会長、能美和基副会長、濱岡代枝理事、尾山奈々子地域歯科保健部委員長、土江雄治朗地域歯科保健部副委員長が出席した。

(執筆者：濱岡代枝、土江雄治朗)



閉会の挨拶をする瓜生賢会長

支部だより

中区支部

第17回 基町・幟町圏域多職種連携会議

日時：5月15日(金)午後7時

場所：ラグナヴェール広島 11階「フィオーレカーサ」

標記会が開催された。

今回のテーマは、DX化が進む医療・介護業界においてどのような可能性と、またどのような課題があるのかを検討していくものであった。

講演は、「ICTツールを活用した情報共有と多職種連携～『見える化』で減らす多職種の『すれ違い』～」という演題で、講師に小武家俊哉医療法人小武家放射線科胃腸科医院理事長を迎えて行われた。講演内容は、ICTとは何か、それは「Information and Communication Technology」の略称で、スマホやパソコンにICTのアプリをダウンロードすることにより利用できるということであった。その利点は、1.現場の「困った」を即解消。2.連携を深めるメリット。3.各職種の「助かる」が挙げられた。また、一般に我々がよく使うLINEなどのSNSと異なっているのは、ICTでつながっている場合は、関係者以外には情報漏洩がないということであった。

それからグループワークへと移行し、テーマは「多職種

連携・ICTに求めるもの～すべてのサービスがシステム連携していたら、どんな連携が可能か～」という内容で、まず事例紹介が行われ、それぞれの班で様々な職種より、いろいろな意見が出され、熱心な検討が行われた。

なお、この会議には中区支部より、波田佳範支部長、森田薫氏、香川次郎氏、若林大輔氏が出席した。

(執筆者：波田佳範)



会議の参加者

第2回 中区支部理事会

日時：5月18日(月)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

議事進行は波田佳範支部長が執り行い、まず報告事項として、支部長より新規入会会員として角伊三武氏と中島大輔氏の件、退会会員として林原久盛氏の件が報告された。

協議事項では、5月29日に迫った「令和7年度中区支部総会」の報告事項と協議事項の確認が行われた。それから、健康ソフトボール大会関連の結団式、練習日程、「中区支部夏季懇親会」に関する日程や来賓招待などが協議された。

そして、その他の案件として中区支部の講習会、勉強会などが協議された。また、中区支部を盛り上げていくためのイベント等においても、様々な方面からの意見に耳を

傾けていきたい。

この会議には、波田支部長をはじめ、有田一喜副支部長、有田竜二氏、尾山奈々子氏、香川次郎氏、小松大造氏、橋本佳子氏、平田誠氏、吉岡英将氏が出席した。

(執筆者：波田佳範)



理事会の様子



休日診療保険請求における留意事項について



大井手和久理事

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・C2 病名において抗生剤が処方されているものがありました。通常 C 病名で抗生剤が必要なケースは考えにくいいため、実態に応じた病名記載、若しくは妥当適切な処方をお願いいたします。
- ・Pul,Per 病名で処置のないものがありました。休日診療においても実態に応じて適切な除痛処置をお願いいたします。

「ホルムズ海峡封鎖から今後の歯科医療を検討してみた」

近年中東情勢の緊張に伴い、「ホルムズ海峡封鎖リスク」がたびたび報じられています。ホルムズ海峡は世界の原油輸送の要衝であり、日本は原油輸入の多くを中東地域に依存しているとされています¹。ホルムズ海峡封鎖影響は燃料価格だけでなく、物流や医療材料供給にも波及する可能性があります。

歯科医療においても、私たちは既にその影響の一端を経験しています。近年、グローブ、局所麻酔薬、抗菌薬、鎮痛薬などで供給調整や限定出荷²が相次いでいます。また、CAD/CAMブロックやレジン材料なども海外供給への依存度が高い状況です。デジタル化が進み、より高度な治療が可能になった一方で、歯科医療が国際物流や輸入に支えられている現実も、改めて認識されつつあります。

1. これからの歯科医療に必要な「備える視点」

こうした状況の中、「備える」という言葉から材料や薬剤の備蓄を思い浮かべることもあるかもしれませんが。しかし実際には、十分な備蓄を継続することは、医院経営や保管期限の観点から容易ではありません。

だからこそ今後は、「多くの材料を必要としない医療」という視点も重要になるのではないのでしょうか。すなわち、疾患を重症化させる前に介入し、大掛かりな治療そのものを減らしていくという考え方です。

2. 予防歯科と「悪くさせない医療」

定期的なメンテナンスを受ける患者ほど歯の喪失が少ないことや³、SPT継続が歯の長期保存に寄与する可能性は、これまで多く報告されています⁴。しかし今後の歯科医療では、単に「予防を行う」だけではなく、「なぜその疾患が起こったのか」を追求する視点が、より重要になるのではないのでしょうか。

例えば、う蝕や歯周病、補綴物破損、歯牙破折、咬耗、欠損拡大などは、単に局所的な問題だけでなく、咬合、清掃環境、生活習慣、力のコントロール不全、口腔機能低下など、複数要因が背景に存在している場合があります。つまり、再発を防ぐためには、「悪くなった部分だけを治療する」のではなく、“なぜそこに至ったのか”という原因に対する診断と介入が必要になります。このことは、Frank Spearが提唱するEFSB(Esthetics, Function, Structure, Biology)の概念でも、審美・機能・歯質・生物学的要素を包括的に診断し、原因にアプローチする治療計画の重要性が示されてい

ます⁵。これは単なる補綴治療技術ではなく、「再発しにくい口腔環境をどう構築するか」という長期的視点とも言えます。

また、MI(Minimal Intervention)コンセプトに基づく低侵襲治療では、健全歯質を可能な限り保存し、必要最小限の介入で長期的安定を目指すことが推奨されています⁶。さらに近年では、う蝕原因への介入や選択的う蝕除去など、“疾患進行を抑えながら歯質を保存する治療体系”の有効性も報告されています⁷。

つまり、「悪くさせない医療」とは、単に削る量を減らすことではなく、疾患原因を分析し、その原因に介入することで再発を抑え、長期的に安定した口腔環境を維持する医療とも考えられます。それは結果として、限りある医療資源や材料使用量の抑制にもつながり、これからの持続可能な地域歯科医療の一つの方向性になるのではないのでしょうか。

3.国際問題は“遠い話”ではない

ホルムズ海峡封鎖という一見遠い国際問題は、実際には私たちの日常診療とも密接につながっています。もし物流停滞が長期化すれば、単に材料価格が上昇するだけではなく、「必要な時に必要な治療材料が届かない」という事態も起こり得ます。

これまで歯科医療は、「悪くなれば治療する」という流れの中で発展してきました。しかし今後は、「そもそも悪化させない」「再発を繰り返させない」という視点が、より重要になっていく可能性があります。

特に高齢化社会では、歯科治療需要そのものは今後さらに増加していくことが予想されます。その中で、限られた材料・人材・医療資源をどのように活用していくのかは、地域医療全体の課題でもあります。

その意味でも、

- * 定期メンテナンスによる重症化予防
- * 長期安定を考慮した補綴設計
- * 原因にアプローチする診断
- * MIに基づく低侵襲治療
- * 再治療を繰り返さない医療

などは、単なる“理想的な歯科医療”ではなく、これからの時代に求められる「持続可能な歯科医療」へつながっていくのではないのでしょうか。

新しい技術を導入することはもちろん重要です。しかしそれと同時に、「限りある資源の中で、地域医療をいかに守るか」という視点も、これからの歯科医療には求められていくと感じます。

【引用文献】

¹ [JETRO 中東情勢と物流リスク]

[石油連盟 シーレーンと日本のエネルギー供給]

² [厚生労働省 医療用医薬品の供給状況について]

[White Cross 歯科用麻酔薬の限定出荷関連記事]

³ メンテナンス期の歯の喪失に影響を与える因子の解析

[藤本省三 J Health Care Dent.2010;12:6-13]

⁴ Lee CT et al.

Impact of Patient Compliance on Tooth Loss during Supportive Periodontal Therapy: A Systematic Review and Meta-analysis.*J Dent Res. 2015.

⁵ Spear FM.



Comprehensive diagnosis and treatment planning concepts based on esthetics, function, structure and biology (EFSB concept).

⁶ Minimal Intervention Dentistry review

Perrone BR. Minimal intervention dentistry: What is its clinical application and effectiveness in different continents? A scoping review. Journal of Conservative Dentistry and Endodontics. 2024;27(2):134-139. doi:10.4103/JCDE.JCDE_274_23.

⁷ Lang NP, Tonetti MS.

Periodontal risk assessment(PRA)for patients in supportive periodontal therapy (SPT).

Oral Health Prev Dent. 2003.



延本全彦委員長

学術部

オーラルフレイルの先駆け、三百年前の偉人。貝原益軒の養生訓 第2回：八十三歳、天然歯二十八本の衝撃

前回ご紹介した貝原益軒(かいばら えきけん)について、私自身が最も驚嘆したことを今回はお話しします。私は以前の「だより」の中で、歯科の患いの洪水の話をしました。お歯黒の話もしました。そして今回へと繋がります。正徳四年(1714年)、彼は八十三歳でその生涯を閉じますが、亡くなる直前まで「歯は一本も欠けていなかった」と伝えられています。益軒は、私たちが掲げる目標である「8020運動」を、今から三百年以上も前から、養生訓というベストセラー作品を使って、江戸に広めていた人物と言えます。しかも、単なる歯の予防とは一線を画す考え方を持っていました。益軒にとって、歯を失わないことは、研究を重ねた「養生」の結果だったのです。

彼は一体どのようなオーラルケアをしていたのでしょうか。『養生訓』を紐解くと、そこには極めて具体的な作法が記されています。彼は「朝夕、焼いた塩で歯を磨き、温湯ですすぐこと」を日課としていました。さらに驚くべきは、食後の「漱口(うがい)」への執着です。彼は著書の中で説いています。一度の食事の後に数千回ものうがいを推奨すること、そして口中の食べかすを徹底的に取り除くことです。現代で言うところのプラークコントロールと、唾液による自浄作用です。科学的なエビデンスのない時代に益軒は体感として理解していたことに驚きを隠せません。また、熱すぎる湯で口をゆすいではならない。歯を損なう原因となるとも警告しています。過度な刺激を避け、生体が持つ本来の調和を乱さない。この慎みの精神こそが、彼の口腔内を最期まで守り抜いた盾だったのです。

今回の益軒の話では、彼は「お口の過保護者」の域をでません。彼は単に歯を大切にしたいわけではないのです。その噛める歯を使って守りたかったものがあったのです。その、食べること以上の意味を持つものとは一体何だったのか。次回へ続きます。

【参考文献】

『図解 養生訓』 齋藤 孝(ウェッジ)

『養生訓』 貝原 益軒 / 松田 道雄 訳(中公文庫)



小早川尚史委員長

広島市歯科医師会会員紹介

厚生部では会員の相互の認識を深めるべく、新入会員の先生を中心にインタビューを行い、その内容を記事にまとめていただいております。今回も新入会員の先生をインタビューさせていただきました。それでは、角 伊三武先生
お願い致します。

Q1. まずは先生の自己紹介をお願いします。

このたび広島市歯科医師会に入会させていただきました、角 伊三武(かど いさむ)と申します。

出身は広島市東区牛田で、広島城北中学・高校を卒業後、長崎大学へ進学しました。

中学・高校時代は自転車競技部、大学時代は水泳部に所属し、体を動かすことが好きでした。大学卒業後は、広島大学病院での歯科研修医を経て、11年間広島大学矯正歯科に勤務しておりました。

この7月に、中区白島九軒町に「かど矯正歯科・小児歯科」を開設予定です。地域の皆さまに信頼していただける歯科医院を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Q2. 先生が歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

もともと細かい絵を描いたり、工作をしたりと、手先を使う作業が好きでした。

また、人の健康を支える医療の仕事にも関心があり、自分の好きなことと医療の両方を活かせる職業として、歯科医師を目指すようになりました。

Q3. 子供の頃、歯科医師以外でなりたい職業はありましたか？理由もあれば一緒に教えてください。

小学生の頃は、宇宙飛行士やパイロットに憧れていました。

また、中学・高校時代は自転車競技部に所属しており、練習や大会で広島競輪場へ行く機会が多かったことから、競輪選手にも憧れていました。

Q4. 先生の仕事の息抜きとはなんでしょう？

体を動かすことや、気の置けない仲間と話すこと、美味しいご飯を食べることです。

休日には、子どもたちとサイクリングに出かけたり、海へ遊びに行ったりして過ごしています。



Q5. 歯科医師会に入って良かったこと。歯科医師会でやってみたい事があればお願いします。

まだ入会して間もないですが、すでに多くの先生方とお話しする機会をいただき、大変勉強になっています。

今後は、矯正歯科の専門性が活かせる矯正相談・学校健診などの地域医療の活動・大学での勤務経験が活かせる学術分野といったことに携わる機会があればありがたいと思っています。

Q6. 最後に 30 年後(もしくは 70 歳)の自分にメッセージをお願いします。

まずは、ここまで無事に元気で過ごせていることに感謝しています。

30年以上、一人ひとりの患者さんに誠実に向き合い、治療や説明を続けてきた自分に、きっと誇りを持っていると信じています。

歯科医療の最前線からは少し離れているかもしれませんが、これからも地域や社会、そして後進の先生方のために、健康に気をつけながら元気に活動を続けてください。



インタビュー：柄優至委員

先生ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

～ハハ姉妹の学校ニュース《38 時間目》「お口ポカン気になりませんか？②」～



デジタル版《38時間目》
広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

お口ポカン気になりませんか？②

前は「お口ポカン」と「全身とのかかわり」について説明をしました。が、「お口ポカン」は、早期に気づきトレーニングすることで、改善が期待できます。今回は、「お口ポカン」を治すトレーニングを紹介します。

★唇周辺を鍛えるトレーニング★



《吹き戻し》



《かざぐるままわし》

お口を閉じるのに必要な筋肉を鍛えることができます。ジェット風船は誤って飲み込む可能性が低いので安心です。

★舌周辺を鍛えるトレーニング★



《あいうべ体操》



《ポッピング》

あいうべ体操は恥ずかしがらずに取り組むことが大事です。また、上あごの天井を使って「ポンッ」と音を鳴らしたり、ガム(お砂糖が入っていないもの)を天井に貼り付けて伸ばしてみましょう。

トレーニングは、とにかく継続して行うことが、大切です。

また、歯科以外にも耳鼻科など他の専門領域の受診が必要な場合があります。

かかりつけの歯科医院でご相談ください。

 歯医者さんからのメッセージ

「お口ポカン」は成長と共に自然に治ることもありますが、癖になってしまい歯並びなどへの影響が出ることもあるので、早期に発見し、しっかりお口で噛んで食べる力を獲得して、8020を目指しましょう。



豊田育星先生

8020

80歳になっても20本以上自分の歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変してください。

※今回は地域歯科保健部 豊田育星氏 他が作成いたしました。

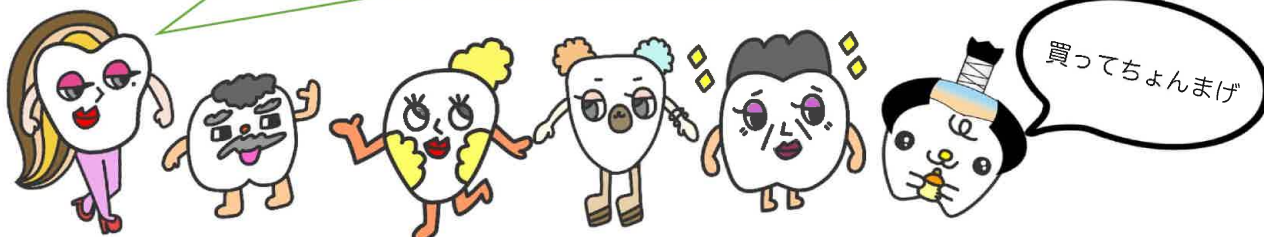
ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードしてください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



公式スタンプよろしくお願いします！



スタンプの利用は市民の皆様への歯科分野啓蒙の一環としてお考えいただけたら幸いです♡

会員ひろば

新入会員紹介



西村友里

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました西村友里と申します。

私は 2011 年に広島大学を卒業後、広島大学病院にて臨床研修を修了し、広島及び京都の歯科医院にて勤務してまいりました。日々の診療を通じて、これまで勤務していた歯科医院の先生方からは多くのことを学ばせていただきました。学びを深めていくにつれ膨らんできた地域貢献をしたいという思いから、約 14 年の勤務を経て西区庚午北にてご縁をいただき、「ゆり歯科・矯正歯科」を開業させていただく運びとなりました。

入会に際しましては、多くの先生方にご指導・ご助言を賜り心より御礼申し上げます。

微力ではございますが、今後は広島市歯科医師会の一員として地域医療に少しでも貢献できますよう真面目に取り組んで参りたいと思います。

まだまだ未熟者で皆様にはご迷惑をおかけすることと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



角伊三武

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました角 伊三武(かど いさむ)と申します。

私は 2014 年に長崎大学を卒業後、地元である広島大学病院で臨床研修を修了し、広島大学大学院医系科学研究科歯科矯正学を専攻しました。その後、同助教として勤務し、矯正歯科診療に加えて、研究・教育にも携わる中で、多くの先生方・患者さんとの出会いを通して、貴重な経験を積ませていただきました。

このたび、小児歯科医である妻とともに、中区白島九軒町に「かど矯正歯科・小児歯科」を開設させていただくことになりました。今後は地域に根ざす医療従事者として、矯正歯科・小児歯科それぞれの専門性を活かしながら、誠実で丁寧な医療を心がけ、地域の皆様に安心して通っていただける医院づくりに努めてまいります。

入会にあたって、多くの先生方にご指導・ご助言を賜りましたことを、この場をお借りして心より御礼申し上げます。これから広島市歯科医師会の一員として、微力ではございますが、会の活動に参加し、地域歯科医療の発展に貢献できるように精進してまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。



二反田淳春

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました二反田淳春と申します。

私は明海大学を卒業し研修終了後、同大学大学院の歯科法医学分野へ進学し、博士号を取得いたしました。

大学院卒業後、生まれ故郷の広島市南区にて父が開業した「二反田歯科クリニック」で、勤務医をしながら現在に至ります。引き続き微力ではありますが、地域医療に貢献できるよう精進して参ります。

入会に際しましては、多くの先生方にご指導・ご助言を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

まだまだ未熟者で、先生方にはご迷惑をおかけする事もあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より「こんな医療トラブルが起っています」
広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例 1：未承認薬材について

自由診療での治療に同意した後、承諾書に未承認薬使用の可能性が記載されていることに気づき、事前説明がなかったことから不安を抱いた。

(センターの対応)

自由診療において未承認薬を使用すること自体は可能であるが、説明に納得できない場合には、治療を受けない選択肢もあることを伝えた。

(コメント)

未承認薬を使用する場合には、安全性、リスクについて丁寧に説明し、文書による同意を得ることが重要でしょう。

事例 2：治療後に生じた症状について

歯のクリーニング後から嘔むと痛みが生じ、電話で相談したものの十分な説明が得られず、再度相談することになったため悩んでいる。

(センターの対応)

現在の口腔内状況は受診先の歯科医療機関が最も把握していると考えられるため、電話対応にとどまらず、医師による診察を受けるよう助言した。

(コメント)

症状が続く場合には、直接診察のうえ原因を確認し、丁寧に説明することが重要でしょう。患者の訴えに真摯に耳を傾ける姿勢が、安心感につながるでしょう。

地域歯科保健部

令和 8 年度 妊婦歯科健康診査料及び節目年齢歯科健康診査料のお知らせ

令和 8 年度の妊婦歯科健康診査料について下記の通り変更がございますのでお知らせいたします。節目年齢歯科健康診査料の変更はございません。

	妊婦歯科健康診査料	節目年齢歯科健康診査料 (歯周疾患健診)	
		一般健診単価	受診者負担金
広島市	5,221 円→5,335 円 (R8.4 月から変更)	4,820 円	500 円
府中町	(R8.4 月～R8.5 月末) 5,137 円 (R8.6 月～R9.3 月末) 5,192 円	3,130 円	1,300 円
廿日市市	5,071 円	3,900 円	500 円
海田町	4,670 円	4,820 円	500 円
坂町	(R8.4 月～R8.5 月末) 5,247 円 (R8.6 月～R9.3 月末) 5,302 円	4,820 円	500 円

【広島市の節目年齢歯科健康診査はがきについて】

- 受診の際に、「歯科健診のお知らせ」はがきを窓口に提出いただけたら、受診される日に、対象年齢であるかをご確認ください（生年月日など）
- はがきの受診者の方の住所とお名前がある面は、切り離して医療機関で保管ください。
(二重受診を防ぐ為と、受診者が広島市民の方が確認する際の参考とする為です)。

※ 廿日市市の節目歯科健康診査は歯科医院との個別契約(佐伯・大竹市歯科医師会のみ契約)

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。)リンク切れはご容赦願います。)

ナフサ不足で歯科医院「数週間で休業の可能性」も… 医療用手袋、8割超が「入荷時期未定」国に“流通の目詰まり解消”など訴える

<https://www.ben54.jp/news/3495>

神奈川県保険医協会が歯科会員を対象に実施した「医療物資の在庫・供給状況緊急アンケート」で、医療機関に欠かせない医療用手袋(グローブ)について、メーカーなどからの供給状況を「入荷時期未定」と答えた歯科医院が84.3%にのぼり、29.5%が在庫を「枯渇している」と回答していることが分かった。中東情勢の影響により、石油製品の原料であるナフサの供給に懸念が生じるなか、一部の歯科医からは「数週間で、医療物資枯渇で休業する可能性がある」との声が寄せられ、日常的に通う“かかりつけ医”への影響も懸念される事態となっている。

また、協会によるアンケート調査では、グローブ・エプロンが販売未定のところが多い、出荷調整と価格上昇が同時に起こっており、医療継続の困難及び、コスト増に伴うキャッシュフローの悪化が心配、などの意見が寄せられた。政府は2026年度の診療報酬改定で、「現下の持続的な物価高騰により、事業収益の増加以上に、人件費、医療材料費、食材料費、光熱水費などが増加して



おり、事業収益が悪化している状況にある」として、物価高騰への対応を「重点課題」に位置づけた。だが、この改定率の上がり幅が決められたのは昨年12月であり、協会側は「今年2月に緊張が高まった中東情勢以後の物価高は反映されていない」と主張。政府に対して「小規模医療機関へ更に目を配り、卸売業者への働きかけを含めた『流通の目詰まり解消』や『適切な情報発信』に期待する」と要請した。

考察

皆さんも周知のように、政府が備蓄している医療用手袋約5000万枚を在庫が枯渇している医療機関に販売することが決まりました。ただ、他の医療物資も供給の影響を受け始めており、この状況が続くと、記事のように今後診療を継続できるか不安になります。在庫を気にしながら診療を行う現状が、一刻も早く改善されることを期待したいです。



柄博紀副委員長

福岡歯科大学 × Suilive、「歯を抜かずに残す」次世代歯科医療へ～術後回復の加速と再生効率の向上を目指し、水素医療の歯科応用に挑戦～

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000152689.html>

水素機器専門メーカーの株式会社 SUIISO JAPAN(ブランド名: Suilive)は、福岡歯科大学と共同で、水素ガスを活用した歯周組織再生療法に関する研究を開始することを決定した。本研究は、歯を「抜く」治療から「再生して残す」治療への転換を目指すものであり、歯科医療における新たなパラダイムシフトをもたらす取り組みである。日本では成人の約8割が歯周病に罹患しているとされ、歯の喪失原因の第1位となっている。しかし、現在の歯周治療には、回復までに時間を要する、再生結果にばらつきが生じやすい、重症例では歯の保存が困難、といった課題が残されている。そこで近年、医療分野で急速に研究



が進む「水素ガス」に注目し、水素の持つ高い拡散性・優れた安全性・抗酸化および抗炎症作用と、既存再生療法との併用により、再生スピードと成功率の向上を目指すという。

考察

歯周組織再生療法は、治療効果の高い再生材料があるとはいえ、症例によっては難易度が高く、再現性が難しい治療だと思います。少しでも成功率があがる可能性のある「水素ガス」の臨床応用に期待したいです。



永井亮委員

歯科での HbA1c 測定、3 人に 1 人で糖尿病早期発見の可能性

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/4205>

英キングス・カレッジ・ロンドン(King's College London)の研究グループは、歯科受診時に行う HbA1c 測定が、未診断の糖尿病や糖尿病前症の早期発見につながる可能性を報告した。



研究では、歯科受診者 911 人を対象に、指先穿刺による簡便な HbA1c 測定を実施した。測定時間は約 6 分で、104 人は既に 2 型糖尿病と診断されていた。対象者の歯肉状態は、健康が 6.0%、歯肉炎が 11.3%、歯周病が 82.7%だった。

既に糖尿病と診断されている患者などを除いて解析すると、227 人(28.7%)が HbA1c 5.7~6.3%の「糖尿病前症」、58 人(7.3%)が「糖尿病」に該当した。つまり、歯科での HbA1c スクリーニングにより、3 人に 1 人以上で未診断の糖尿病関連異常が見つかる可能性が示された。

さらに、歯周状態が悪いほど HbA1c が高い傾向も確認された。HbA1c 平均値は、歯肉が健康な人で 5.43%、

歯肉炎で 5.51%、歯周病で 5.76%と上昇していた。研究者らは、歯周病による慢性炎症が糖代謝に影響を与え、逆に糖代謝異常も歯周病を悪化させるという「双方向性」の関連を指摘している。

著者らは、歯科医院は医科受診機会の少ない患者に対して糖尿病リスクを発見できる重要な場になり得ると述べており、特に高齢者、BMI 高値、歯周病患者では有用性が高いとしている。

考察

歯周病と糖尿病の関連性は以前から知られていましたが、歯科医院での HbA1c 測定が実際の病気の早期発見につながる可能性を示した点は非常に意義深いと感じます。しかし、一方で歯科でのスクリーニング検査が患者にどこまで受け入れられるかなどの課題もあるかと思います。



佃文蔵委員

2 歳までの砂糖摂取制限で成人後の心血管リスクが低下する可能性

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/4182>

多くの子どもはクッキーやケーキ、フルーツスナックなどの甘い菓子が大好きである。しかし、将来の心臓の健康のためには、乳幼児期の砂糖摂取を抑えた方がよいかもしれない。



受胎後の 1,000 日、つまり 2 歳になるまでの間、砂糖摂取を制限されていた子どもは、成人後の心血管疾患の発症リスクが少ないことが明らかになった。香港科技大学(中国)の Jiazhen Zheng 氏らの研究によるもので、詳細は「The BMJ」に 10 月 22 日掲載された。

解析対象は、英国の一般住民対象大規模疫学研究「UK バイオバンク」の参加者のうち、1951 年 10 月~1956 年 3 月に生まれ、研究参加時点で心血管疾患の既往のない 6 万 3,433 人(平均年齢 54.6±1.6 歳、女性 56.9%)。このうち 4 万 63 人は 1~2 歳になるまで砂糖配給制度下で育ち、2 万 3,370 人は同制度廃止後に育っていた。

人口統計学因子、社会経済的因子、遺伝的背景、生活習慣、親の健康状態などを調整後の解析で、砂糖配給制度下で育った群は対照群より、成人後の心血管疾患リスクが低いことが明らかになった。

考察

著者らは、「我々の研究結果は、乳幼児期の砂糖摂取量に重点を置いた健康政策が、心臓に有益であることを示している」と総括し、その上で、「今後は個人個人の食事摂取状況も調査し、遺伝的、環境的、生活習慣的要因の相互作用を考慮した研究を進め、より個別化された予防戦略を開発する必要がある」と付け加えています。歯科医院においても歯肉蝕予防と絡めて、このような全身の健康へのエビデンスを語れることが重要になってくると感じました。



浅野真弥委員

【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



4月1日放送分

「4月19日におくちの健康展」野坂覚氏

<https://x.gd/Excub>



4月15日放送分

「おくちの健康展みどころ」土屋崇文氏

<https://x.gd/GRgwG>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」今だけこだけキューアップ 第1・3水曜日午前9時30分から

6月3日放送分

口のけが防ぐマウスガード

平田誠氏



部活動などのスポーツ中には、歯が折れたり、抜け落ちたりする重大な外傷が発生することがあります。今回は実際の事故例も紹介しながら、そのような事例が起きた場合の具体的な対処方法や、歯を守るために有効とされるマウスガードの役割、重要性について解説します。

6月17日放送分

歯医者直伝“若見え口元習慣”

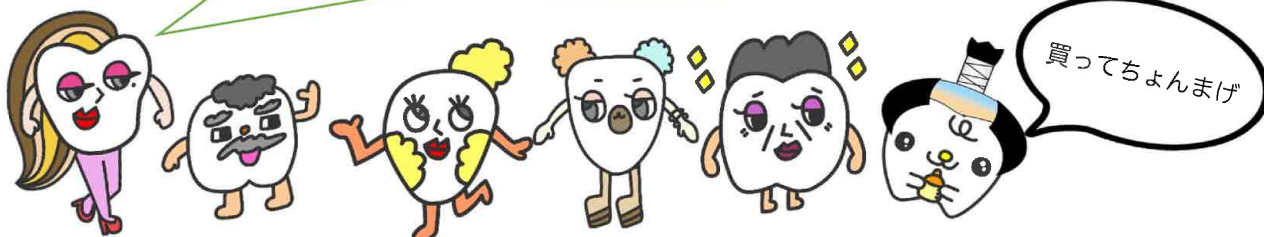
延本全彦氏



コロナ禍以降、歯並びやホワイトニングなど「口元美容」への関心が高まっています。番組では、歯の色や歯並びだけでなく、食いしぼり、スマホ姿勢、口呼吸などの日常習慣が口元の印象やフェースラインに与える影響について解説します。自宅のできるセルフケアも交えながら、“若見え口元習慣”を紹介します。



公式スタンプよろしくをお願いします！



スタンプの利用は市民の皆様への歯科分野啓蒙の一環としてお考えいただけたら幸いです💖

去る5月8日、本会第22代会長でいらした森本克廣先生がご逝去なさいました。81歳におなりになったばかりでした。森本先生の告別式にて会長として弔辞を読ませていただきましたので、ここに再掲したいと思います。

会長コラム (第36回)

森本克廣先生を偲んで

瓜生 賢

森本先生、先生の訃報に接し、我々会員一同、深い悲しみと喪失感に包まれております。先生が会長ご退任後、急な病に倒れられた後も、病と向き合いながら「リハビリは生きる証、生きた証である」と前を向き、歯科界の行く末を温かく見守ってくださっていたこと、そのお姿にどれほど私たちが勇気づけられたか計り知れません。本日ここに在りし日のお姿を偲び、一般社団法人広島市歯科医師会を代表して、一言お別れの言葉を申し上げます。

先生は、昭和46年3月に、神奈川歯科大学をご卒業され歯科医師免許を取得されると、神奈川歯科大学補綴科や本会会員の歯科医院勤務を経て、昭和48年11月に広島市歯科医師会に入会され、昭和50年3月に南区東雲に「森本歯科医院」を開業されました。ご病気で診療ができなくなるまで36年以上にわたり、地域歯科医療に尽くしてこられました。その間、比治山小学校の学校歯科医も長く務められ、平成15年には広島市学校保健功労者表彰、平成20年には学校医等の永年勤務者に対する感謝状も受賞されています。

本会にあっては、昭和52年4月から4年間の公衆衛生部委員を経て、昭和56年4月に久保田執行部で公衆衛生部理事に就任され、荒谷執行部を経て、私の父が会長を務めました瓜生執行部では専務理事を、小松執行部では副会長を務められ、平成19年4月より第22代広島市歯科医師会会長に就任されました。平成23年3月に2期4年の任期を経て会長職を退任されるまで、実に30年近くを本会役員として、市民の健康の為、歯科医師会会員の為に尽力されました。

私が初めて先生とお会いしたのは、平成元年、先生は本会公衆衛生部理事、私はまだ広島大学の学生でありました。公衆衛生学の実習のため小学校において調査・アンケートを実施したいと思い、当時専務理事であった父に相談したところ「それは森ちゃんに頼め」と言われ、東雲の診療所に伺い、お許しを得て、先生が学校歯科医をなさっていた比治山小学校における調査に多大なご協力を賜りました。初めてお会いした森本先生は、あの時代に白衣ではなくご自身の似顔絵のついたピンクのトレーナーを着て診療されていたことに驚いたのを覚えております。それ以来、入会前から大変かわいがって頂き、先生が会長に就任された際には理事を拝命することになりました。執行部役員としての考え方や振る舞い、トップとしての在り方など、会務に係ることは全て先生から叩き込まれました。今こうして私がなんとか会長職を務めていられるのも、先生の薫陶があったからこそと思います。本当に心から感謝しております。プライベートでゴルフや釣りを一緒にした時にも、先生のお話はいつも会務、そして歯科界の未来に関することばかりでしたし、ご退任後病床にあられるときも何かにつけお電話を頂き、たくさんのご助言をいただきました。4月18日・よい歯の日に生まれた僕にとって歯科医師は天職だ、と常々おっしゃっていた通り、先生は昭和48年のご入会以来、50年余という長きにわたり、本会の発展にその情熱を注ぎ込まれました。先生が常々仰っていた「組織が停滞するのは、若者のエラーではなく、老人の跋扈である」というお言葉。これは、常に組織の自浄作用と新陳代謝を重んじ、次世代に希望ある歯科界を繋ごうとされた先生ならではの、厳しくも愛に満ちた警鐘でありました。

公衆衛生部の理事を長年お務めになった経験から、会長就任時には「口腔文化観の醸成」という新たな理念を

打ち出されたことや、阪神淡路大震災の折には、歯科医師への支援に留まらず、被災されたすべての人々へ救済の手を差し伸べるべきだと唱え、本会独自の義援金を募集されたこと。その精神は後の本会における公衆衛生活動や、東日本大震災・広島土砂災害などに係る支援活動にも、揺るぎない伝統として受け継がれております。一般社団法人広島市歯科医師会が備えるべきその崇高な理念は、みな先生のご慧眼あってこそのものでした。

先生のご功績は数多ありますが、その中でも広島市歯科医療福祉対策協議会を立ち上げられた事は特筆されるべきものだと思います。広島市行政が休日歯科診療を歯科医師会に委託することとなった平成2年、当時公衆衛生部理事であった先生は、「広島市域で行う公衆衛生活動は、広島市域の歯科医師会が行うべきである」という強い信念のもと、広島市域にある他の歯科医師会に働きかけ、当時広島市域にあった五つの歯科医師会が協力して休日診療を行うという、現在の広島市歯科医療福祉対策協議会の前身となる広島地区休日歯科救急医療対策協議会の構築に尽力されました。広島市歯科医療福祉対策協議会は、休日歯科診療や在宅訪問歯科健診診療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業という、現在まで続く広島市民の健康に寄与する大切な事業を支える団体として現在も確固たる地位を築いております。

永年に亘る歯科診療所での歯科医療活動や歯科医師会での歯科保健普及啓発活動等のご功績により、平成7年に広島市長表彰を、平成19年に広島県知事表彰を、平成20年には厚生労働大臣表彰を受賞され、平成27年4月には、叙勲 旭日双光章ご受章の栄誉に輝かれました。

また、先生が会長に就任された際、公益法人改革という大きな時代の分水嶺において、総務部を新設し、透明性の高い組織運営の基盤を築かれた功績は、現在の本会の礎そのものであります。90周年記念事業の際に先生が掲げられた「継承と創造」という言葉を、私たちは今改めて噛み締めております。

「幸せは、健康の中にある」 先生が平成27年の会誌太田川の提言において会員に贈ってくださったこのメッセージを、私たちは生涯忘れません。歯科医師として、市民の健康を守ることを天職とされた先生の想いを継ぎ、市民の皆様の笑顔と健康を守り抜くことを、ここに固くお誓い申し上げます。

生者必滅が世の習いと申しながらも、今は私どもとは幽冥境を異にする世界に旅立たれました。宿命とは申しながら、あまりに非情であり、ご遺族の方々のお気持ちを思うとき、その悲嘆はいかばかりかとお察し申し上げ痛恨の極みでございます。森本先生、これからはどうか重責を解かれ、安らかにお休みください。先生の愛された絵を描き、ゴルフを楽しまれた時のように、お浄土で穏やかに眠りにつかれることを願ってやみません。

今は悲しくとも、ただただ先生の安らかなご冥福を心からお祈りいたしまして、意を尽くし足りませんがお別れの言葉といたします。長い間お世話になり本当にありがとうございました。心から御冥福をお祈り申し上げます。

合 掌

令和8年5月13日

一般社団法人 広島市歯科医師会

会長 瓜 生 賢

5 月定例理事会報告

「部外報告」

4月23日 RCC ラジオ収録「節目年齢歯科健診」
 〃 国保組合理事会
 4月24日 令和7年度広島市防災会議
 4月26日 【Web】(県歯)令和8年度診療報酬改定説明会
 4月27日 第1回四者協議会
 4月30日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 5月1日 令和8年度広島市学校保健会総会及び第1回理事会・専門委員会
 5月14日 (県歯)会員サポート室会議
 〃 (県歯)理事会
 5月16日 全国国民健康保険組合 中国・四国支部総会 研修会
 5月19日 I P 無線機変更作業
 〃 広島県国保連合会歯科再審査部会
 5月20日 (県歯)都道府県歯科医師会厚生会員担当理事連絡協議会
 5月20-23日 広島県国保連合会歯科審査部会
 5月22-26日 社会保険診療報酬支払基金審査

(連盟関係)

5月3日 広島県第一区・第二区「憲法座談会」
 5月9日 松井かずみ後援会総会

「総務関係」

4月24日 おくちの健康展反省会
 4月25日 中2班花見会
 4月28日 令和8年度第1回学術講演会
 5月18日 事務職員歓迎会
 5月23日 広島市歯科医師会会計監査・予算説明
 〃 三役会
 5月27日 定例理事会

(慶弔関係)

4月29日 西区支部 福永健一先生 ご母堂様ご逝去
 5月8日 南区支部 森本克廣先生 ご逝去

(入会退会関係)

4月24日 南区支部 二反田淳春先生入会
 4月30日 中区支部 角伊三武先生入会
 5月7日 中区支部 中島大輔先生入会
 〃 入会後面談(二反田淳春先生)
 〃 入会後面談(角伊三武先生)
 5月22日 入会後面談(中島大輔先生)

(県歯理事会関係)

5月14日 (県歯)理事会

(1)総務部(大井手理事)

4月24日 おくちの健康展反省会
 4月30日 休診レセプト点検
 5月7日 入会後面談(二反田淳春先生)
 〃 入会後面談(角伊三武先生)

5月11日 (県歯)医療管理部小委員会
 5月13日 (県歯)医療管理部委員会
 5月15日 定例委員会
 5月18日 事務職員歓迎会
 5月22日 入会後面談(中島大輔先生)

(2)学術部(花岡理事)

4月24日 おくちの健康展反省会
 4月28日 第1回広島市歯科医師会学術講演会
 5月15日 定例委員会

(3)厚生部(横村理事)

5月13日 (県歯)福祉厚生・育成部 常任委員会
 5月14日 定例委員会

(4)地域歯科保健部

4月24日 おくちの健康展反省会
 5月15日 定例委員会

<地域保健>(土屋理事)

4月23日 RCC ラジオ収録立合い
 5月19日 (県歯)地域保健部常任委員会

<学校保健>(濱岡理事)

4月27日 第1回四者協議会
 5月1日 広島市学校保健会総会第1回理事会

<地域連携>(中川理事)

4月30日 グループホーム ユニット増設面談(医療法人絆)
 5月22日 南区在宅医療介護連携推進委員会令和8年度市民公開講座第1回企画会議

(5)広報部(小島理事)

5月8日 校正委員会(だより5月号)
 5月12日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー(放送日)

6月3日 「口のけが防ぐマウスガード」
 平田 誠 氏
 6月17日 「歯医者直伝“若見え口元習慣”」
 延本 全彦 氏

(6)広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 不明
 ページビュー 不明
 会員サイト 訪問者 不明
 ページビュー 不明
 LINE 公式アカウント 登録者数5月22日203名

(7)特別委員会

(8)救急蘇生委員会

新名称の委員会に会則等新規作成予定

(9) 選挙管理委員会

(10) 各部事業計画について
3月理事会で承認済

(11) 歯科医療安全相談

5月1日 相談 支払をしない患者について
(中区会員からの情報提供)

「協議事項」

(1) 入会について(2名)

南区支部の山本一暁氏の入会について承認、西
区支部1名継続審議中

(2) 会費について(1名)

終身会員資格取得による会費額変更について1
名承認

(3) BCPについて

内容について協議

(4) (8020推進財団)令和8年度歯科保健活動助成事業に
ついて

内容について協議

(5) 第119回定時総会について

内容について協議

(6) 第119回定時総会懇親会について

内容について協議

(7) 会費賦課額等検討特別委員会について

内容について協議・承認

(8) 選挙管理委員会委員について

内容について協議・承認

(9) その他

「その他」

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com

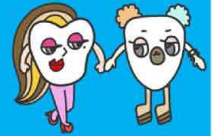


LINE 公式アカウント 友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



今までの配信内容

- 3月31日配信 県歯保険部よりお知らせ
- 4月 8日配信 広島市の節目年齢健診の健診票に変更はありません！ご注意を！
- 4月23日配信 広島県物価高騰に係る医療従事者支援及び医療機関等における賃上げ・物価上昇対策支援事業について
- 5月26日配信 日歯保険医療課より予約に基づく診察に係るキャンセル料についての情報提供

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

広島市歯科医師会 Instagram、Facebook、YouTube、
に投稿しておりますので、是非ご覧ください！！



一般社団法人広島市歯科医師会 第119回定時総会

開催日時 令和8年6月27日（土）午後3時
開催場所 広島市東区二葉の里3丁目2番4号
広島県歯科医師会館2階「ハーモニーホール」

ハガキ提出してね～！



